

株式会社五光

～技術力と提案力で差別化を図る特殊車両部品の専門メーカー～

フォークリフトやショベルカー、土木、除雪作業に使われるホイールローダ、鉱山向け超大型ダンプカーなど、産業・建設用車両の部品製造に特化したスペシャリスト企業。大手建設機械メーカーを顧客に、それら車両用構造物のロボット溶接、手作業による半自動溶接、マシニングセンターによる機械加工を専門に行う。穴あけやねじ立てをコンピューター制御するマシニングセンターの早期導入によって、加工の高精度化、効率化を図り、業界での安定した地位を築いた。

創業は1963（昭和38）年。現在のさいたま市岩槻区内に工場を構え、農機具、自動車部品の製造販売業を始めた。1966年、これを改組して有限会社五光製作所を設立。先代社長の佐久間友治氏（現会長）が4兄弟と母親（現社長の祖母）の5人で設立したことから「五光」の社名にしたという。この年から大手フォークリフトメーカーからの受注が始まり、特殊車両の部品製造に特化する足掛かりとなった。翌1967年には、事業拡大に伴い、現さ



古河工場

いたま市見沼区に本社兼大宮工場を新設して移転。溶接ロボット、マシニングセンターの導入を進め、精度を高めるとともに技術の向上を図った。

1 990年、茨城県八千代町に茨城工場を開設。1996年に株式会社五光と改組し、新たな顧客を獲得しながら事業拡大した。2007年に茨城県古河市で稼働した古河工場の新設と設備の増強に伴い、2009年に本社機能を残し大宮工場を閉鎖。茨城工場に大型マシニングセンターによる機械加工と手作業による特殊溶接部門、古河工場に大型ロボットによる自動溶接を主体とする設備をそれぞれ集約することで、スペシャリストとしての基盤を確立した。



大型溶接ロボット

製品は当初、フォークリフトのフォーク部分を支える小型部品が中心だった。その後、大型部品への対応力をつけ、鉱山用のダンプカー、ホイールローダ、ショベルカー、各種除雪用車両、道路舗装用のアスファルトフィニッシャーといった大型特殊車両の部品を受注。産業・建設用車両の大小各種部品を幅広く加工製造するようになった。会社設立時に収益の大半を占めていたフォークリフト部品は現在2割強となり、他の建設機械の部品製造に

売り上げの多くが移行する形となっている。

佐久間拓也社長は「何トンもある大型構造物をワンストップで加工できる『まとめる力』が強み。これには『設備力、技術力のすり合わせ』が不可欠で、簡単にまねできるものではない」と語る。大型設備とそれを使う技術力の集積が他社との差別化につながり、オーダーメイドの特別注文にスピード感をもって応える高度な技術と対応力が、顧客から信頼を得る大きな要因となっている。

こうした企業力を背景に2008年のリーマンショックによる収益減を3年間でV字回復。この時は「中国の経済政策と輸出向け鉱山用製品の受注に助けられた」と佐久間社長。2011年の社長就任以来、組織改革を軸にした経営基盤の整備に力を注いできた。さらに、大手建設機械メーカーの設計プロジェクトに開発段階から加わり、部品精度や強度など現実的な加工法を積極的に提案。パートナー企業としての存在感を高めている。

一方、社内では人材育成にもつながる改善提案制度を積極的に実施。年間300～400件が提案され職場改善に生かされている。また技術力の底上げとして技能コンテストを行い、優秀者が顧客主催の大会に出場。毎年優秀な成績を修めているという。一方で、QC（品質向上・コスト削減）活動も展開。今年11月



横中ぐり盤（マシニングセンター）

には顧客主催の全国大会に出場するなど、各種の活動で成果をあげている。

また、古河工場で今年5月に稼働したソーラー発電システム（能力300kw）は、CO₂削減という環境への取り組み効果とともに「企業イメージの向上に役立っている」という。

近年の傾向としてはシェールガスの出現で石炭価格が下落、資源価格に左右される輸出向け鉱山用機械の需要が減少傾向にある。国内では東日本大震災の復興需要のほか大雪の影響で、ミニホイールローダの需要が増えているという。

海外への部品発注が増加するなか、佐久間社長は「海外勢に対し、価格だけの競争に巻き込まれないものづくり」をめざし、「品質や技術力に加え、提案力やスピードといった優位性を生かして顧客といかに密接な関係を築くか」に重点を置きたいと語り、とりわけ提案力の重要性を強調する。



佐久間 拓也 社長

企業概要 株式会社五光

代表者 佐久間 拓也
設立 1966年
資本金 2,000万円
従業員 パートを含め79人
事業内容 建設機械部品の溶接、機械加工
本社 さいたま市見沼区大谷1942
電話番号 048-683-3611 FAX 048-686-3247
取引店 七里支店